

古賀の「声」から知事に質問・提案!

福岡県議会議員
【古賀市】

田辺かずき 県政報告

古賀発! ただいま
県政刷新中!

～第19号～
2014年10月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります!】
■9月定例会の報告
若者の政治参加促進
■人口減少と地方政治
ラグビー・五輪招致

全域で対話集会を開催中

9月定例会 地域防災力強化も

□住民の皆さん
の「声」

田辺一城の 発信箱

「災害時の私
たちの避難場所
は安全性が確保
されているのか」

「災害が発生したら、どこに
避難すればいいのか分からな
い」。いずれも、私自身
が古賀市内の全域を回り、

毎週開催している対話集会
で住民の皆さんからいただ
いた「声」です。避難場所
は安全でなければならぬ。
そして、誰もが分かりやす
い標示がなければならぬ。
果たして、実態はどうなっ
ているのか。

□知事への提起に生かす

福岡県議会・本会議にお
ける私の知事らに対する提
起は、こうした住民の皆さ
んのご質問やご意見がきつ
かけとなつていきます。す
さま、9月定例会(9月17

□地域を回り、得る実感

地方議会の議員の役割は
このように首長(都道府県
では知事)に課題を示し、
解決のための取り組みを促
すこと。このため、最も大
切なのは「現場」です。対
話集会に加え、地域行事な
どを回って多くの皆さんと

□政治が「手元」にある

話をさせていただくことが
社会課題の把握につながり
ます。この夏から秋にかけ
ても、夏祭りや敬老会、運
動会、文化祭など多くのイ
ベントを駆け回らせていた
だきました。

こうして地域を回り、対
話を継続しているのは、政
治家には住民の皆さんに
「政治が手元にある」と実
感していただけのような環
境をつくる責務があると考
えているためです。そして、
次代を担う若者にもこの実
感を持ち、課題を解決する
ため積極的に政治・社会に
参加してもらいたい。こう
した思いから9月定例会で
は、地域防災力の強化に加
え、学校現場で「主権者教
育」にしっかりと取り組むよ
うに提案しました。詳しく
は裏面で報告してあります
ので、ご一読いただけると
幸いです。



毎週、市内各地で対話集会を開催＝花鶴丘2丁目3区公民館で、10月3日夜

2014年度 対話集会の開催実績

5月8日	庄北区
5月15日	薦野区
5月22日	青柳区
5月30日	花見南区
6月4日	日吉台区
6月10日	古賀東区
6月19日	千鳥北区
6月26日	舞の里2区
7月2日	小竹区
7月11日	中央区
7月14日	花鶴丘1丁目区
7月26日	薬王寺区
8月6日	中川区
8月28日	鹿部区
9月2日	新原区
9月12日	花見東1区
9月16日	舞の里4区
9月24日	高田区
10月3日	花鶴丘2丁目3区

※10月15日現在、13年度までの実績は
公式HPをご覧ください。
※直近の開催日程は公式HPなどに掲載
しています。

田辺の政治活動を連日発信しています!

田辺かずき

で 検索

ブログ(政治活動日記)
公式ホームページ

facebook

Twitter

<http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>

<http://www.tanabe-kazuki.jp/>

<http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>

アカウント→ @tanabe_kazuki

裏面へつづきます

高校公民科教育と生徒会活動の充実

先の通常国会で、憲法改正の続きを定める改正国民投票法が成立し、投票年齢が2018年6月21日以降は「18歳以上」となりました。「18歳選挙権」も実現する流れとなっています。一方、福岡県選管発行の「選挙の記録」によると、県知事選や県議選の投票率の低下傾向は、国政選挙に比べても顕著。7/8割だった投票率は前回2011年4月の選挙ではいざいずれも4割前半まで落ち込んでいます。特に若年層の政治離れが進んでいるとされ、対策が急務です。

そこで9月定例会・一般質問では、教育現場で「政治が手元にある」「政治・社会は自分たちが動かしていくもの」との主権者意識を涵養していくため、県内の高校に

おける公民科授業や生徒会活動の充実、選挙管理委員会と連携した取り組みの推進を求めました。教育長は「新聞記事や選挙公報を教材として用いるなど実社会での出来事と関連付けながら理解を深めさせるよう努めており、選管と連携した出席授業を活用するなど参加型・体験型学習の充実を図りたい」と答弁。さらに「生徒会活動の充実と政治参加の意識高揚を図る観点から、各種研究

会において、県内の事例や生徒会選挙に実際の投票箱を使った事例など、実践的な取り組みについて周知に努める」と約束しました。そのうえで、選挙管理委員長は「県選管としては、今後の学校現場における主権者教育については、市町村の選挙管理委員会とも協力し、講師の派遣や教材の確保など必要な支援を行っていく」と答弁し、主権者教育を推進する考えを示しました。

価値観の転換——人口減少社会における地方の可能性

成熟した国家として、これからの日本がどのように社会を形成していくべきか。人口減少社会が到来する中、東京一極集中を打破し、地方に活路を見出し、いかに

「発想を転換する」ことの重要性を強調。「地方は(自分の地域に)『ないもの』に注目しがち。そうではなくて、東京になく、ここ(地方)に『あるもの』を探し出す(ことが大切)」。地域には多くの課題があり、このため解決するためになすべきことも多くあります。若者をはじめ私たち地域住民がこれに気付き、取り組むことができるか。湯浅氏の指摘はとて

も重要と感じました。なお、人口減少社会における地方再生については、福岡県議会でも多くの議員が問題提起し、議論が行われています。私も引き続き、しっかりと取り組みます。

湯浅氏からは、自身が活動する中で出会った「地域課題に向き合い、取り組む若者たち」を挙げながら、



「発想を転換する」ことの重要性を強調。「地方は(自分の地域に)『ないもの』に注目しがち。そうではなくて、東京になく、ここ(地方)に『あるもの』を探し出す(ことが大切)」。地域には多くの課題があり、このため解決するためになすべきことも多くあります。若者をはじめ私たち地域住民がこれに気付き、取り組むことができるか。湯浅氏の指摘はとて

も重要と感じました。なお、人口減少社会における地方再生については、福岡県議会でも多くの議員が問題提起し、議論が行われています。私も引き続き、しっかりと取り組みます。



モンゴル・オリンピック委員会の皆さんと

ラグビーW杯、東京五輪の招致活動

県議会は9月定例会で、2019年ラグビーワールドカップや2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けたキャンプ地誘致などのための調査研究や県民の気運醸成のためのシンポジウム開催などを盛り込んだ今年度一般会計補正予算案を可決しました。予算審議の中で、私はラグビーW杯の試合会場誘致の必要性を取り上げ、地元・古賀市出身の福岡堅樹選手(筑波

大)をはじめ本県ゆかりの日本代表選手、県立高校の躍進に触れながら、実効性ある形で「県民一体となった気運の醸成」に取り組むよう、強く要請しました。なお6月定例会・一般質問でも誘致実現に向けた活動を促しています。また、これに先立つ7月30日、所属会派としてモンゴル・オリンピック委員会と会談し、キャンプ地などの招致活動を実施。小川洋知事と加地邦雄議長から託された親書を手渡しました。

<田辺かずき プロフィール>

1980年5月16日生まれ
1987年 暁の星幼稚園 卒園
1993年 花鶴小学校 卒業
小学校在学中、第2回古賀町少年の船に参加
1996年 古賀中学校 卒業
1999年 福岡県立福岡高校 卒業(高51回)
2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社/福井支局 配属
原発事故や災害弱者、日本人拉致問題などを取材
2006年 大阪本社社会部 配属
橋下徹・大阪府知事(当時)、大阪府警、甲子園、福祉問題、地域活性化、国際紛争などに取り組む
福岡県議会議員 初当選
厚生労働環境委員会(～13年)
国際交流推進対策調査特別委員会(～13年)
【所属】福岡県議会・新社会推進商工委員会
同・防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会
同・スポーツ議員連盟幹事
民主党青年委員会事務局次長

【家族】会社員の妻、7歳の長男、4歳の長女
【最近の私事】芸術の秋。子どもたちにも多くの文化・芸術に触れてもらいたいですね。わが家の子どもたちは、私も子どものころにお世話になった古賀新宮子ども劇場に入会しています。9月の公演と一緒に観ることができました。日本各地の伝統舞踊や祭りを始め、まるで旅をしているよう。長女は獅子舞が近づいてきて泣いてしまいましたが、今年も古賀市市民劇団アイコンのオリジナルミュージカルに出演させていただきました。公演は大成功!詳細は次号で。



みなさんとともに古賀での活動

そうめん流し、夏祭り、敬老会、文化祭、運動会、放生会……。古賀市は夏から秋にかけてイベントが満載です。1日に10カ所以上を回ることもしばしば。出来る限り多く足を運ばせていただこうとの思いで、日々、地元を駆け回っています。また、朝、古賀市内の各駅に立つと多くの励ましの言葉をいただき、心から感謝いたします。商工会青年部の皆さんによる花鶴川(大根川)を舞台にした「古賀ライトフェスタ」は大盛況。クライマックスの花火も感動を呼んでいました。映画「ゴジラ」シリーズや「日本沈没」などを手がけ、世界から再評価されている特撮美術監督、井上泰幸氏の功績を見つめなおす企画展と関連イベントも



大成功でしたね。「ういてまで!」が合言葉の「着衣泳」の指導についても小野小で視察させていただきました。毎年、子ども会育成会の球技大会では自分の子どものころを懐かしく思い出します。様々な行事の企画・運営にご尽力いただいた皆さん、お疲れ様でした!